

「駒場散策会」

2014年6月21日（土）10：00～

前日までの雨が止み、好天の下、恒例となった文化委員会主催の散策会を実施しました。案内人として、今年も、前国際高校日本史教諭の蒲生眞紗雄先生にお願いしました。先生のお話は大変わかりやすく、地域の歴史に思いを馳せる貴重な機会になりました。

駒場野公園より総勢46名で、散策会がスタートしました。この公園は、明治10年に設立された駒場農学校が前身です。そこでは、駒場東大前駅の歴史（2つの駅だったものを、今の1つの駅に統合した事）も伺いました。

続いて、日本民藝館へ。民藝に本物の美を見出した柳宗悦の収集物をまとめた建物です。当日は特別展「濱田庄司」展を開催しており、民芸好きには最高の1日になりました。

そして、旧前田公爵邸へ。和館・洋館ともに、当時の前田の殿様の贅を尽くした暮らしぶりが伺える建造物です。

最後は、駒場公園を抜けて東京大学教養学部へ。旧第一高等学校当時の建物を見学しました。歴史的な建物であるというだけではなく、建築にデザイン性と芸術性を兼ね備えた、まさに文化であり、後世に残したい建物であるとの認識を新たにしました。

ここで、散策会は終了。終了時刻が予定よりも遅れてしまい、先生、参加者の皆様にご迷惑をおかけしました。この場でお詫び申し上げます。

参加された方からは、「都心にこのような自然豊かな所があるとは知らなかった。」「またゆっくり訪れてみたい。」などの声が寄せられました。

お忙しい中、しおりまでご用意下さった蒲生先生や、参加者の皆様のご協力のおかげで、今年も盛況のうちに散策会を終えることができました。あらためて感謝申し上げます。

P T A文化委員会



